

積算資料 建設資材価格指数

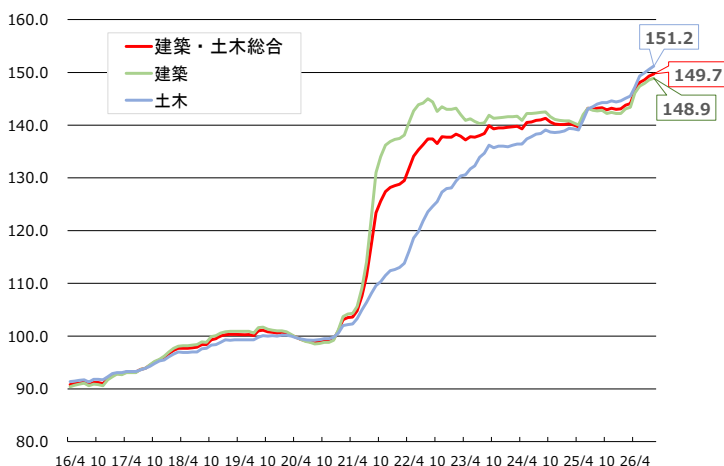


一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総体的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

指数の推移（2026年8月調査）

全国・2020年度平均=100



建築・土木
総合

	当月指数	前月比	前年同月比
建築・土木 総合	149.7	+0.4	+6.5
建築	148.9	+0.3	+6.2
土木	151.2	+0.6	+7.2

指数の詳細な計算結果はこちら

<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/>



部門別 主な指数の動き（主要10都市）

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木 総合	●生コンクリート：+21.3高松 ●コンクリート二次製品：+10.8新潟、+2.0那覇、+0.3福岡 ●普通鋼鋼材：+0.8札幌、新潟、+0.6仙台、名古屋、+0.5東京	●瀝青材：-2.7札幌、仙台、-2.5新潟、高松、-2.4福岡、-2.3広島、-2.2名古屋、-1.9那覇、-1.8大阪、-1.7東京
建築	●生コンクリート：+20.2高松 ●コンクリート二次製品：+12.2新潟、+3.6那覇、+0.4福岡 ●普通鋼鋼材：+0.8新潟、名古屋、+0.7札幌、仙台、+0.6東京 ●その他鋼材：+2.8札幌、+1.5大阪、+0.9東京、+0.6仙台、+0.2広島、+0.1新潟、名古屋	
土木	●生コンクリート：+22.7高松 ●コンクリート二次製品：+8.8新潟、+0.1福岡 ●普通鋼鋼材：+0.9札幌、+0.8新潟、+0.4東京、+0.3仙台、+0.2名古屋 ●特殊鋼鋼材：+4.4札幌、仙台、東京、新潟、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、+4.1那覇	●瀝青材：-6.1東京、名古屋、大阪、広島、-5.9仙台、福岡、-5.8新潟、高松、-5.5札幌、-4.6那覇

指数集計対象資材の市況

8月調査に基づく建設資材価格指数は、建築・土木総合で149.7と前月比0.4ポイント上昇し、7カ月連続で最高値を更新した。前年同月比でも+6.5ポイントと依然として高い伸びを示している。資材別では高松の生コンクリートが+21.3、新潟のコンクリート二次製品が+10.8など地場資材の上昇が目立つが、普通鋼鋼材も全国的に堅調に推移し、指数の上昇圧力となっている。一方、瀝青材はWTI原油の80ドル台への下落を受け各都市で軟化したが、販売側が各種コスト上昇を交渉材料としたことから小幅な下落に留まった。先行きも、総じて販売側の強気姿勢は続くと思われ、指数は引き続き続伸する展開が予想される。

指数に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部

TEL.03-5777-8212

©2026 一般財団法人 経済調査会